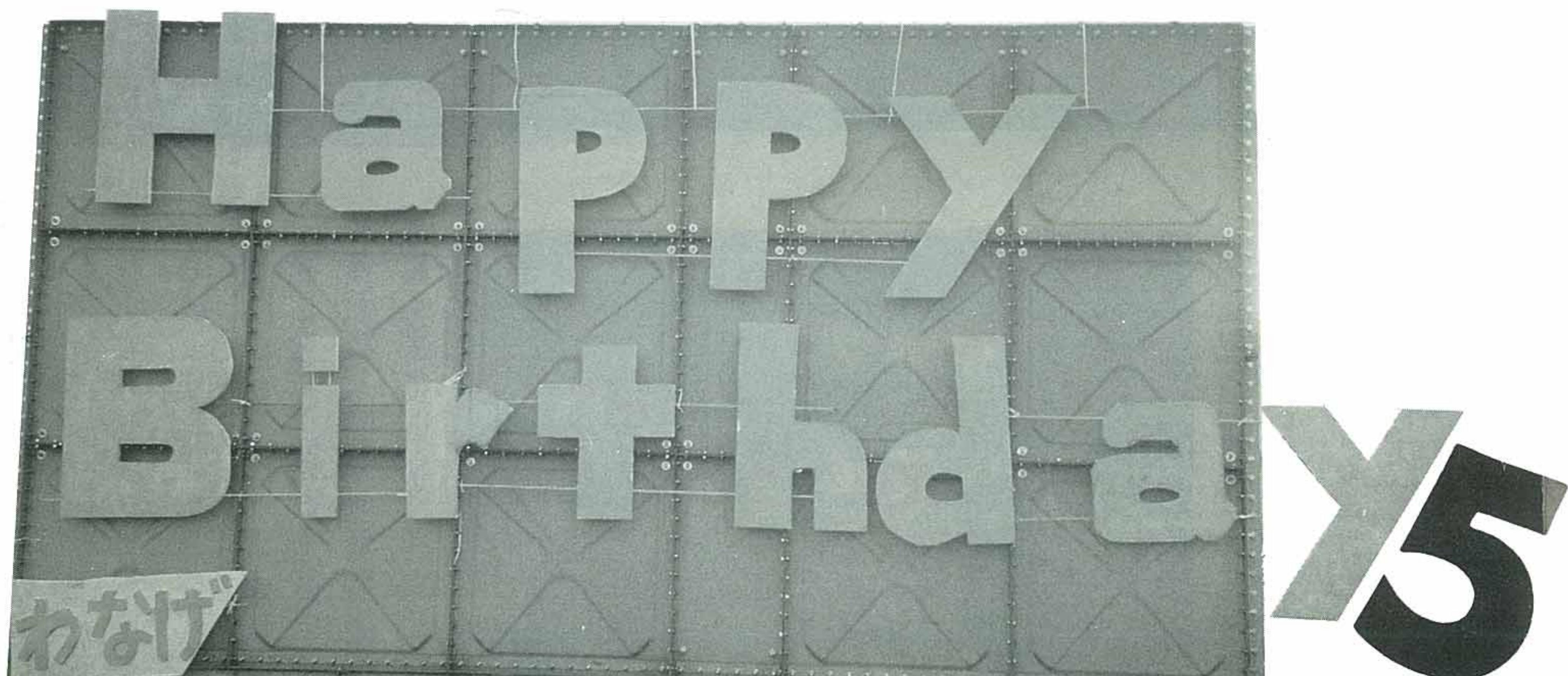


平成7年第5号

ビタミンC

社会福祉法人 慈恵会
特別養護老人ホーム
あいふるの里
愛知県一宮市浅井町
西海戸字余陸寺45-1
☎(0586)78-8441



五周年を迎えて

施設長 谷川 喜久雄

私は大変恐縮ですが、私の子供の頃のテレビの中では、アメリカの家庭の台所にある大きな冷蔵庫とその中に入っている今の大物、ペットボトルほどある大きな牛乳瓶、車庫には当時の日本では見たことがないフィッシュテールの大きな乗用車、そして手入れの行き届いた芝生の広い庭……。

それらは、自分の住んでいる世界と全く異なる豊かな世界でした。わずか16インチの箱の中から次から次へと取り出しありは見せてくれたものでした。子供心に、いつか大きくなつたら自分たちもアメリカと同じような豊かな社会、自分達もそんな生活ができる日が来ると思っていたのです。

三十数年後の今、回りを見渡すと、確かに物で満ちあふれ豊かになりました。しかし、豊かさを求めすぎて大切なものが、大事なもの一部をどこかに置き忘れてきてしまったような気がします。そして実は、その豊かさを築き上げてきた人たち、腰が曲がるほど懸命に働いてきて、その腰は二度とまつすぐにならなくなつたおじいちゃん。子供を育てあげ、夫を看取り、最後は他人の世話になる事になつたおばあちゃん。

お年寄りは自ら進んで語ろうとはされませんが、これまでの辛かった事、恨みに思つた事、楽しかった事、泣いた事、いろんなことを今は、おだやかな横顔から語りかけてこられます。老人ホームの職員として仕事をさせていただきながら、人生の先輩たちから教えていただきました。

この六月一日で、あいふるは満五才になりました。

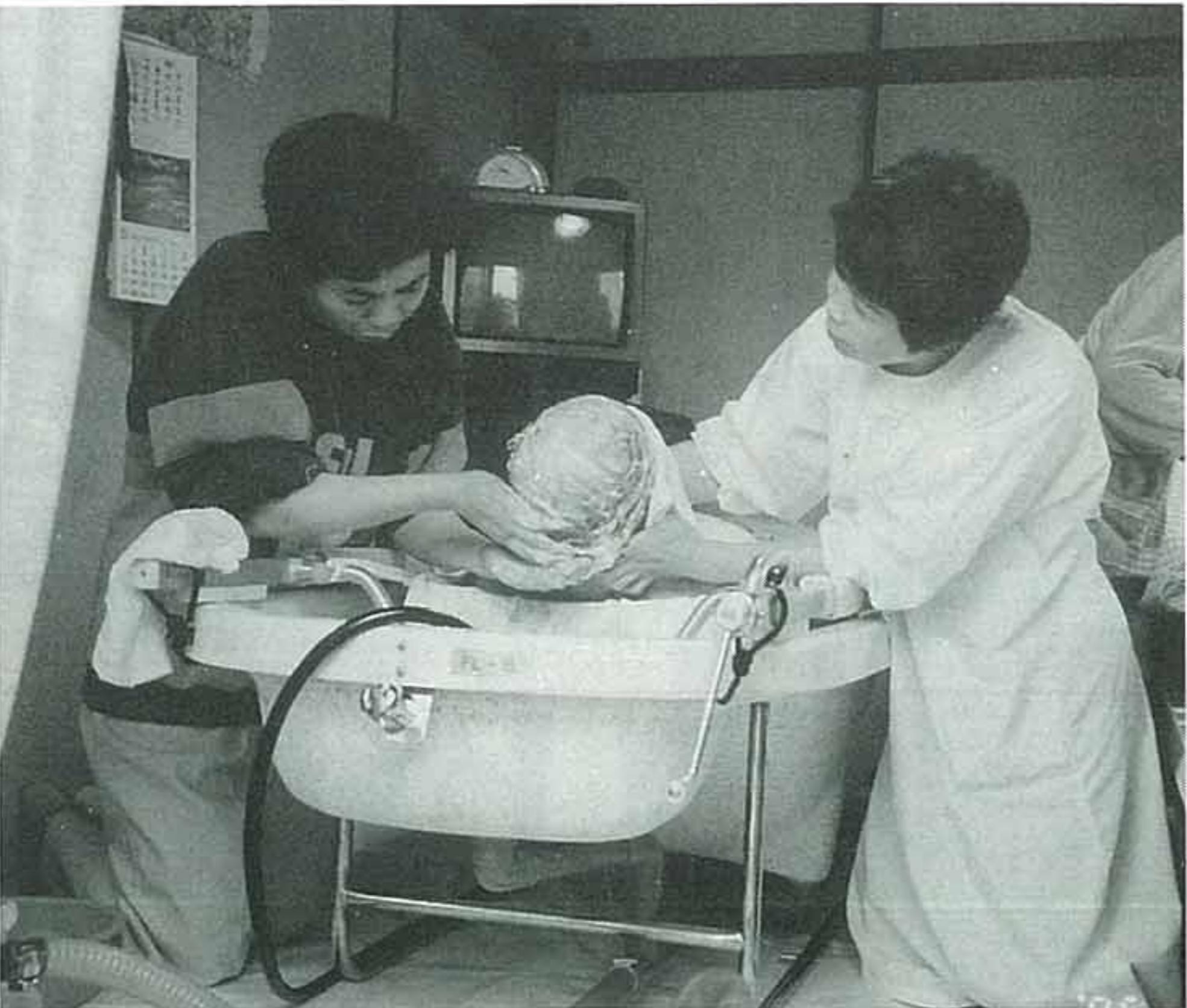


入浴サービス開始

日本人はとても風呂好きな国民である。西洋人と比較するとよくわかるが、西洋人の入浴に対する文化レベルは、単に体の清潔を保つためのものであるのに対し、日本人は清潔を保つことにプラスして、体を“癒す”ために入浴するのである。体の疲れをとるときや、ストレスを解消したい時などにお風呂を求めるのはそのためである。骨休めにはお風呂が一番と言うくらいに入浴は日本人にとっては、衣・食・住と同じ文化レベルにあり、切っても切り離せないものなのである……

あいふるの里では、在宅で寝たきりの方や重度の障害のため家族等の介助だけでは入浴することが困難な方に、より良い方法で入浴していくただけたらと、今年の4月より新たに訪問入浴サービス事業を始めることがになりました。このサービスは、ケアマネジメントで同行し、利用者のご自宅まで入浴サービス専用車にてお伺いします。アワーカー2名と看護婦1名の計3名で同行し、利用者のご自宅まで入浴車には、持ち運びのできる浴槽や4,000ℓの貯水タンク、タンクの水を10分足らずでお湯にできるボイラーラーを搭載しています。ハード面においては申し分のない車両にてサービスを行なつてますが、ソフト面においても車両に引けをとらないよう、安全で快適な、かつ、体を癒すことのできる入浴を利用者の皆さんにします。利用者の皆さんは私達が力不足ではあります。利用者の皆さんは私達が力不足であるのにもかかわらず、入浴できることを本当に楽しみにし、心待ちにしています。どの利用者も入浴後には本当にさっぱりとした表情をされ、安らいでいらっしゃいます。

最後になりましたが、このような表情を利用者の皆さんにしていただ



けるには、入浴は素晴らしい効果的であると認識し、より一層サービスの向上に努めると共に、どこの町でも庶民の憩の泉となつてゐる“お風呂屋さん”の雰囲気で入浴していただき、利用者の皆さんに“お風呂屋さん”的な名称で呼び親しんでいただきたいと思います。この先いろいろな問題や障害にぶつかつた時など皆様にご迷惑をおかけしたり、ご指導を仰ぐことがあるかと思いますがよろしくお願ひ申し上げます。



あいふるの里も一宮市浅井町に誕生して丸5年が過ぎました。

あいふるの里 5周年記念祭

いつもあいふるの里がお世話になつて いるボランティアさんをはじめ、ご近所の方々、ファミリーの家族の皆さん、実習生の皆さんと多くの方に来ていただきました。

特に今年は他の施設との交流を深めるため、『照光愛育園』の子供さん達にも来ていただきました。

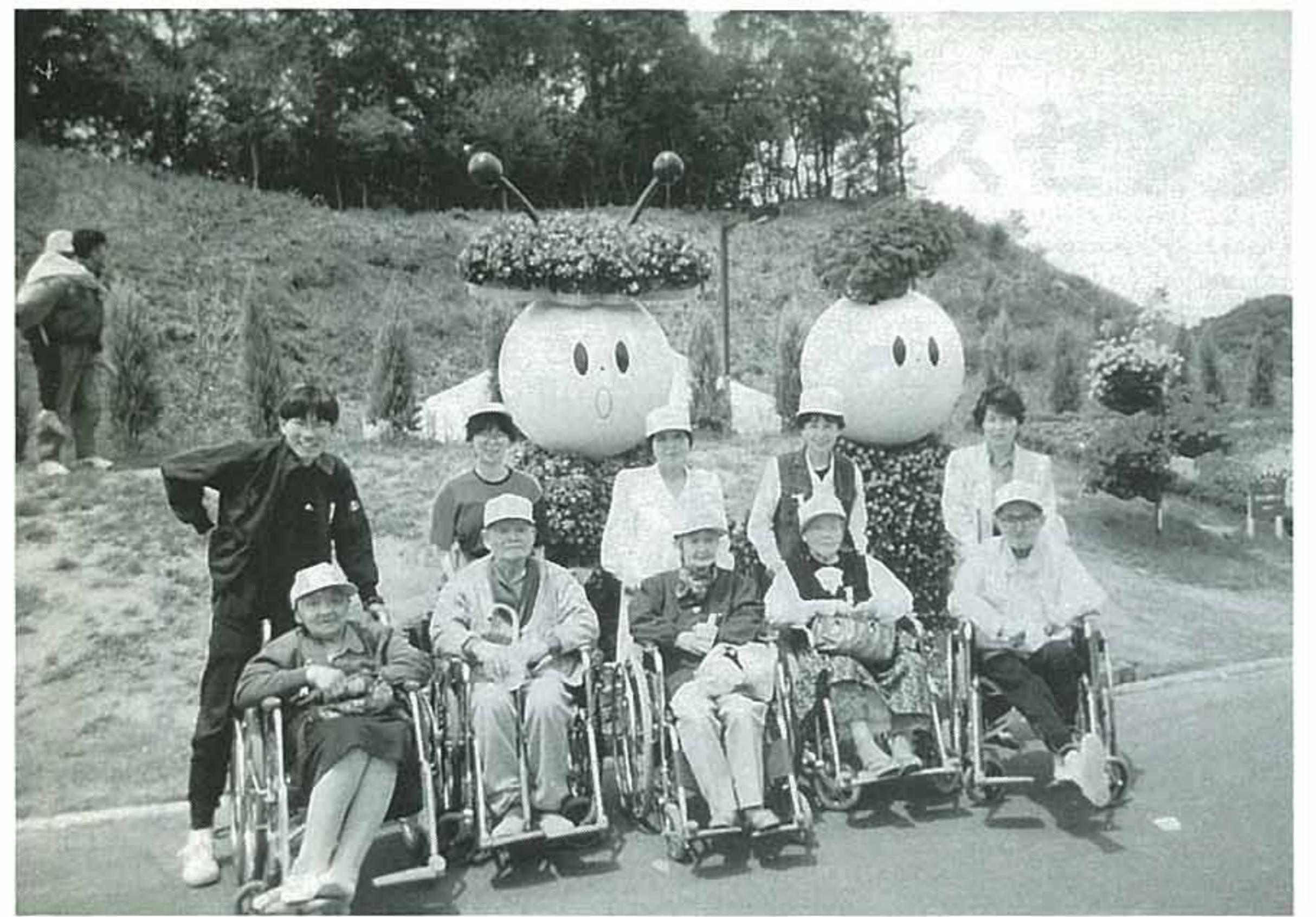


開所記念日はバーべキュー大会です。バーべキューのタレは毎年施設長が作り上げることになっていますが、皆さんお味はいかがだったでしょうか。



オタルの会 詩歌
ぬいぐるみの希望くん、愛ちゃん
(子供たちの人気者でした。)
など皆さんのご協力によつて楽しい
ひとときを過ごすことができました。

今年はバーべキューをメインに多くのイベントが行われました。龍鼓太鼓さんの演奏長坂さんのマジックショウでらうまアンサンブル



いざ着くと小雨が！しかし皆さん
の日頃の行いがよいのか、みるみる
天気は回復し晴天となりました。
歩道の脇には色とりどりの花が咲
き乱れ、ファミリーの皆さんのが顔に
も、笑顔があふれていきました。
さて、花見といえば、だんごです。
皆さん売店で五平餅やまんじゅう、
アイスクリームなどを食べとても満



足そうでした。やはりファミリーの
皆さんは「花よりだんご」なのでしょ
うか？
ともかく何事もなく、出掛ける事
ができるのはボランティアさん、ご
家族の方々のお蔭です。ファミリー
の皆さんにとっても、思い出深い一
日であったと思います。
本当にありがとうございます。

今後の行事	
☆7月29日夕方6時から	あいふるの里夏祭り
今年も暑い夏がやってきます。 昨年に引き続き仮装大会がありま す。皆さん、是非仮装をして盆踊 りに来てください。	今年も優勝者には素晴らしい景品 が用意されています。 もちろん屋台もたくさん出ます。
☆9月27日 バスピクニック	ファミリーの皆さんと日帰り旅行 を行ないます。ご家族の皆さん、 ボランティアの皆さん、是非参加 してください。お待ちしております。
その他にもいろいろな行事が予定 されております。	詳しく述べるの里事務所前に ある「行事の案内」に載っております のでご覧ください。



「外出」一言で言うと「藤見に行
く」だけの事ですが、それは「春の
すがすがしい風を感じ、花を愛で、
自然の美しさに感激し、人ごみの中
でお団子や田楽を食べてお祭り気分
に浸り、おまけにちょっとしたドラ
イブ気分が味わえる。さらにお寺に

松尾さんは懐かしい町を目にして
感極まり、堤さんは普段は細い目を
まん丸にして見物、花が大好きな神
林さんも、見事な藤やぼたんの花に
大満足、皆さんに喜んでいただきま
した。雨のため予定していた日が中
止になり、行けなくなってしまった
方、ごめんなさい。また来年をお楽
しみに。



曼陀羅寺藤まつりへ外出

お参りできる。」という欲張りな時
間なのです。

松尾さんは懐かしい町を目にして
感極まり、堤さんは普段は細い目を
まん丸にして見物、花が大好きな神
林さんも、見事な藤やぼたんの花に
大満足、皆さんに喜んでいただきま
した。雨のため予定していた日が中
止になり、行けなくなってしまった
方、ごめんなさい。また来年をお楽
しみに。

春のバスピクニック

五月十七日(水)に春のバスピクニック
として「花フェスタ'95」に行なって
きました。参加ファミリー四十名、
ボランティアさん、職員を含めると
総勢一二〇名が二台のバスで出掛け
「遠足」と言うより、ちょっととした
日帰り旅行のようでした。



ディサービスセンターだより



4月の初めに各曜日5日間、利用者の皆さん・ボランティアさん・ご家族の方々と一緒に、市内の公園でお花見をしました。手作りのお弁当や焼きたての田楽を食べたり、散歩をしていました。次のが伝わるでしょうか。『6日はお花見と云ふので何だか心ウキウキ。』『6日頃からバスに乗り出発。光明寺の堤から、もう花のトンネル。』葉では言い尽くせない位桜の木が一杯花を咲き競っていて、本当に身も心も奪われ、つくづく生甲斐を感じました。此れも一重にあります。有難う御座居ました。』S・Tさん(奥町)

お花見してきたよ



家庭介護者教室

今回の第8回シリーズは、各曜日利用者のご家族の皆さん(計25名)と共に「寝たきりにさせないための介護」というテーマで開催させていたしました。寝たきりというと、

脳卒中後遺症や骨折が原因という場合も多いのですが、実は、精神的な部分も大きく関わっており、さらに、様々な疾病を引き起こし得る:ということを、ご家族の皆さんと一緒に私達職員も学ばせていただきました。左記に、参加者の感想を掲載させていただます。残念ながら欠席だった方も、次回は是非ご参加ください。介護をする上で、少しは余裕が生まれると思います。お待ちしております。

『今の所、私は病気のこともですが、やはり本人の心の病と付き合っていくのが大変です。年と共に何となくひどく成っていく様に思います。例えば、死とか妄想から色々と言つて私も困りますが、こうして皆様とお話し出来ますと、又、まあ頑張つて見てあげなければと私にもファイトが出てきました。』Mさん(娘)

『今回教室に初めて参加出来、本当に良かったと思いました。色々と皆様方も苦労してみえ、自分だけではない事が良くわかりました。又、男性の介護の苦労も良くわかりました。参考になりました。』Mさん(夫)



昨年の下呂温泉に続いて2回目の一泊旅行。9月に入つて梅雨入りが宣言され、8・9日とも降水確率は80%とせっかくの旅行が雨と心配されましたが、皆

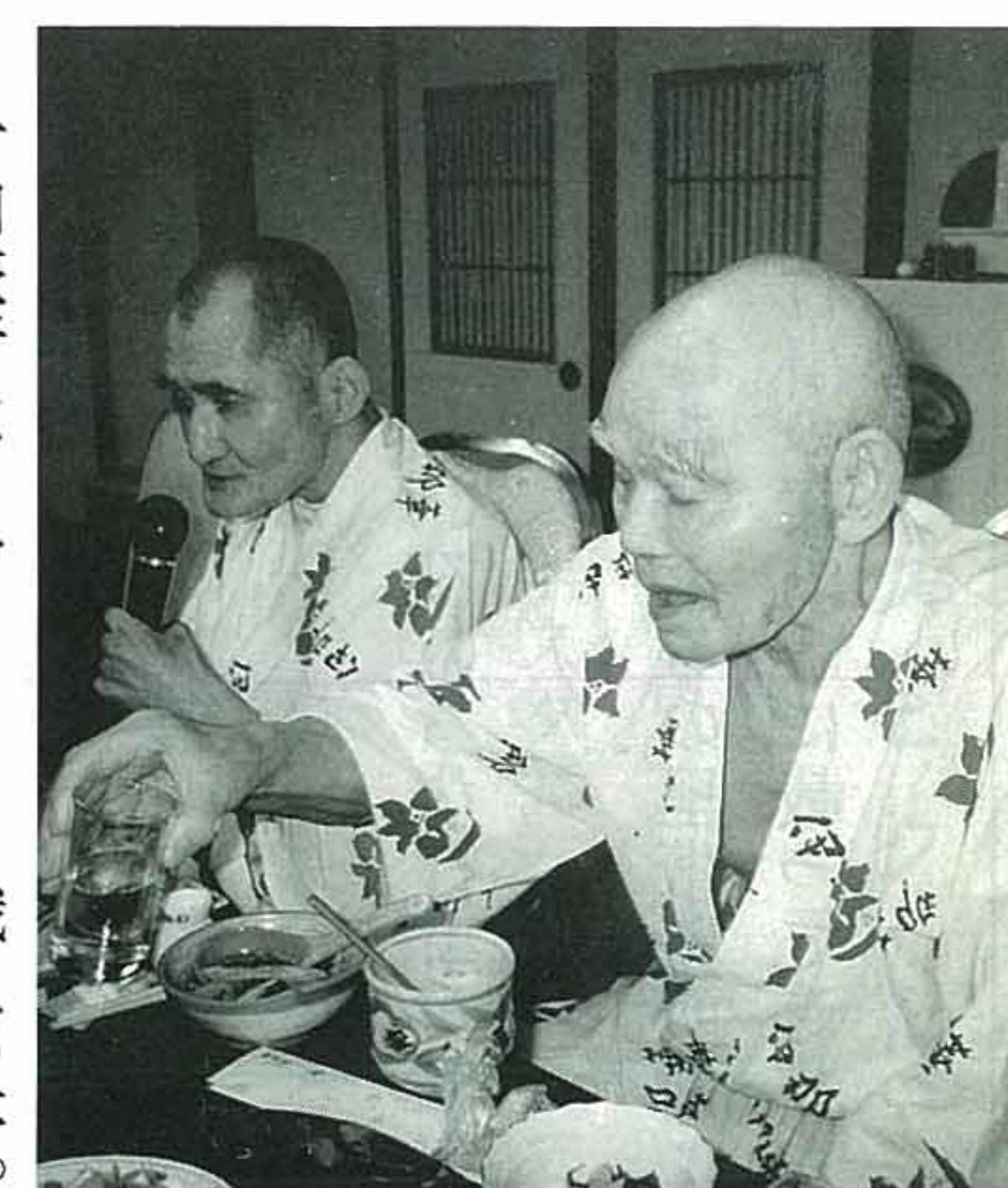


JR東海バスの運転手さんにガイドさん、車椅子の積み下ろしからお年寄りのお世話まで本当にありがとうございました。ホテル伊那華の皆さんのお暖かいおもてなし、最後まで本当にお世話になりました。

旅行中、多くの方の暖かい心に出会うことが出来ました。皆さん、ありがとうございました。

JR東海バスの運転手さんにガイドさん、車椅子の積み下ろしからお年寄りのお世話まで本当にありがとうございました。ホテル伊那華の皆さんのお暖かいおもてなし、最後まで本当にお世話になりました。

2日の旅でした。



一泊旅行はファミリーと職員の夢。久しぶりの温泉旅行、ファミリーの中には23年ぶりの旅行で不安だった人、昨年で自信がつき、また参加した人。職員ではお年寄りと一緒に温泉旅行をするのが夢だった人。など、みんなの夢がいっぱい詰まつた1泊です。

【6月8日(木)・9日(金)】

一泊旅行で
昼神温泉に行つてきたよ!

さんの願いが通じたのか、雨は夜だけで昼間は雨も降ることがなく行つてくることができました。

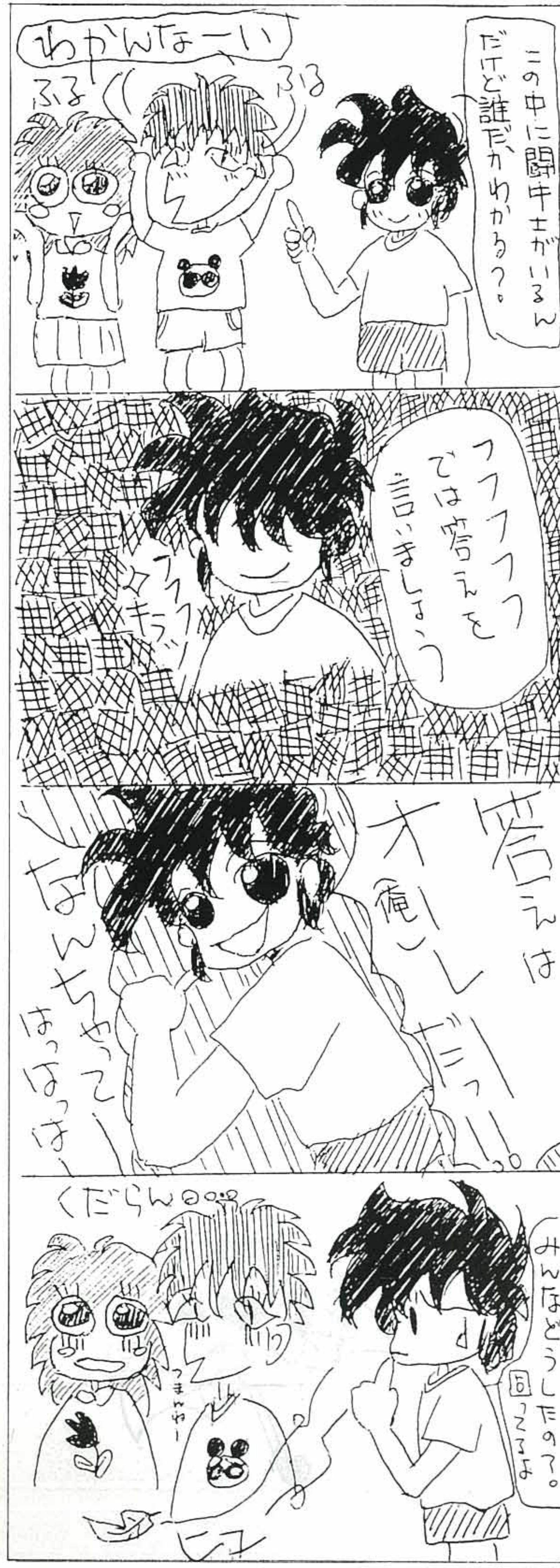
一番の思い出はもちろん貸切の温泉、そして夜の宴会。

大広間での宴会、9時過ぎまで皆さんで飲んで、歌つて大騒ぎでした。

馬場さん、杉浦さん、石黒さん、水谷さんの熱唱。楽しい思い出ばかりです。

して喫茶一駱駝舎へ。以前の永井さんからは考えられない光景です。元気になつたら、よく笑い、よく話し、性格まで明るくなりました。

次は自分で車椅子に乗れるようになつたら素晴らしいですね。これからも一步一歩がんばりましょう。



ガンバツテルぞ！ コーナー

今回はコーヒーのお蔭で元気回復された永井さん（81才）をご紹介します。

以前は、よく発熱し、体も弱く、毎日する事といえばただ目の前の食事を食べるだけ。車椅子に乗せられても自分では一步も動けず、何を見て何を感じているのか？という状態でした。

永井さんの変身のきっかけは、週一回だった喫茶店が毎日営業になつたこと。永井さんの最後の楽しみ「食べる」ことが復活のエネルギーになつたのです。

今では車椅子に乗せてもらえれば自分でこいで、エレベーターも操作して喫茶「名古屋」

五月二十二日、あいふるの里に、温泉がやつてきました。一宮名鉄百貨店さんのご協力により、市内の施設にサービスされたものです。

天下の名泉、下呂温泉よりはるばる送られて来たこの贈り物に、ファミリーも思わず歓声。五千リットルも入る大きな浴槽に、あふれるほどに汲みたてのお湯が張られ、のんびり、ゆったり、ワイワイ、ウキウキ、合計四十二名のお年寄りが入浴されました。

お風呂上りには、飛騨の搾りたての牛乳をごちそうになり、温泉気分を満喫、今日一日の大きなプレゼントに十年も若返ったファミリーは



よかつたねコーナー

きっと、いつまでも、この日のお湯
のぬくもりと、お骨折りくださった
方々のやさしさを、心で暖め続けて
いくのでしょうか。

下呂町の職員の方々、そして名鉄
百貨店の皆様、ありがとうございます。
した。

ボランティア同志の親睦を深め、スムーズな活動を展開するためには「ほたるの会」なるものが今年4月に発足しました。

さて発足はしたものなの、どのようにこの会をもつていたら良いのか、まだメンバーのお顔も、お名前もお互いに判然としないままに手探りの状態が続いていましたが、この5月18日にやつと皆さんにお集りいただき、話し合いの場を持つことができました。

そこで決められたことは、とにかくむつかしいことは抜きにして、月に一度はお茶でも飲みながら「ワイワイ、ガヤガヤ」とやっていきましょう。ということでした。こうした雰囲気の中からボランティア仲間に相応しい気風も生まれてくることと思います。

やっとホタルも光り始めたようです。



ボランティアさん こんにちは
今日は、毎週火曜日に来て下さるボランティアさんを紹介します。
写真を見て知っている方も多いと思します。

井口もとさんは、元保育園の園長先生をされていました。お年寄り（ファミリー）の皆さんにもとても優しく話をされています。

いつも、ファミリーの話し相手になってくれています。あいふるの里に来て、ボランティアが楽しいと言つてくれる井口さん、いつまでも、あいふるでファミリーの相談相手としてがんばって！

ありがとうございました

<寄付物品>

3/1	愛生苑様
3/4	牛乳石鹼様
3/6	中島久子様ご家族
3/10	富田えみ子様 伴 富子様ご家族
3/13	富士理容様 大木産業様 中京テレビ様
	伴 富子様ご家族
3/14	江南むつみ様
3/15	共同募金会様
3/17	津島市福祉課様
3/20	岩越圭代子様
3/21	藤本敦子様
3/22	犬山市社会福祉協議会様 栗本健吾様
	青木様
3/24	豊田学園様 清水真一様親類 谷川喜一様
3/27	高根様
3/28	岩倉市役所様
4/1	平林さか江様ご家族 熊沢美千代様ご家族
4/3	馬場喜弘様
4/5	船橋よ志子様ご家族 古田きく様ご家族
4/6	御桜ノ里様
4/10	渡辺保治様ご家族
4/12	愛知福祉学院様
4/13	真野宗四郎様
4/17	水口喜多夫様 平和町様
	永山良子様
	大屋様
	森 晴美様
4/20	沢田年夫様ご家族 沢田年夫様

お菓子1箱
シャンプー、 リンス各1箱
お菓子1箱
缶詰1箱
お菓子1箱
お花1鉢
お菓子1箱
タオル、 ボールペン各1箱
お菓子1箱
お菓子1箱
お菓子、 缶ジュース各1箱
お菓子2箱
お菓子1箱
お菓子4箱
お菓子1箱
お菓子1箱
お菓子1箱
お菓子1箱
清酒2本
ねぎ30本
お菓子1箱
お菓子1箱
お菓子1箱
紙おむつ2箱
ケーキ1箱
ケーキ1箱
お菓子1箱
石鹼4箱
お菓子1箱
お菓子1箱
車椅子1台
お菓子1箱
お菓子20箱
お酒1本
お菓子1箱
お菓子1箱
自転車1台

4/21	早矢仕定子様ご家族	草餅1箱
4/24	尾関由紀子様ご家族	お菓子1箱
	フジシマ薬局様	お菓子1箱
4/25	川寄清子様ご家族	お菓子1箱
4/26	早矢仕定子様ご家族	お菓子2箱
	奥村すわ様ご家族	お菓子1箱
	鈴木ちえ子様ご家族	お菓子1箱
4/28	長尾千代様ご家族	お菓子1箱
	寺澤義弘様ご家族	お菓子1箱
5/1	フジシマ様	お菓子1箱
5/2	土川光子様	お菓子1箱
5/5	小島とし子様ご家族	お菓子1箱
5/10	長尾千代様ご家族	お菓子1箱
	大川まさゑ様	お菓子1箱
5/11	夏山清栄様ご家族	お菓子1箱
	堀井様ご家族	お菓子1箱
5/15	林様ご家族	お菓子1箱
5/16	岩田ヒサノ様ご家族	お菓子1箱
5/17	渡辺寅三様	お菓子10箱
5/22	下呂町様	下呂の湯 牛乳80本他
	野洲町民生児童委員協議会様	タオル
	あじさいの会様	お菓子1箱
5/23	栗田義輝様	お菓子2箱
5/24	岩田かね様	お菓子1箱
5/26	酒井様	お菓子5箱
5/27	水谷様、吉川様	お菓子1箱
	御桜ノ里様	お菓子1箱
	まごころサービス様	お菓子2箱
6/1	伊藤かね様	お菓子1箱
6/4	長尾千代様ご家族	お菓子1箱
6/7	早矢仕定子様ご家族	お菓子1箱
	はごろも薬局様	ジュース1箱

<寄付金>

4/11	ご家族	(株)東京ドレス様
5/1	ご家族	長尾武郎様
5/8		坂下 稔様
5/27		水谷文衛様
	ボランティア	浅井リフレッシュの会様
	ボランティア	山下正之様
5/30	ご家族	野洲町民生児童委員協議会様 加藤 巳様

これからも初心を忘れずにはいふの里も今年で満5年を迎えました。5周年記念祭の時、5年振り返る劇を行いました。5年前の事を思い出すと、時の流れを感じます。劇の中で大切にしていたのは、あいふるの5年の歴史の積み重ね、そして、お年寄りへの思いでした。

明日への希望、夢を持ち続けていくようなあいふるであってほしいです。

笑門
—編集後記—

